

〔あなたの消費が世界の未来を変える〕

エシカル消費って なあに？



近ごろよく耳にする「エシカル消費」という言葉。その正しい意味をご存じでしょうか？

直訳すると「倫理的消費」。なんだか少し堅苦しいですね。

でも「消費」という行動は、食べることや使うこと、買物など、わたしたちの毎日の生活そのもの。

「エシカル消費」はより良い社会に向けた、人や社会、環境に配慮した消費行動のことです。

このキーワードを意識しながら日々を過ごしてみると、世界の未来が変わります。



「エシカル消費」でどんなことが応援できるでしょうか。 具体例の一部を見てみましょう。

認証ラベルのある商品を選ぶ※



FSC®森林認証:
適切に管理された森林資源を使用した商品(紙製品など)



MSC認証:
海洋の自然環境や水産資源を守って獲られた水産物(シーフード)

生物多様性
への配慮



RSPO認証:
環境への影響に配慮した持続可能なパーム油使用の商品(洗剤など)

被災地の産品を買う

被災地の特産品を消費することで経済復興を応援。



地域
への配慮

地元の産品を買う

地産地消によって地域活性化や輸送エネルギーを削減。

環境
への配慮

エコ商品を選ぶ

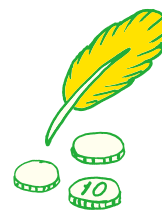
リサイクル素材を使ったものや資源保護等に関する認証がある商品を購入。



社会
への配慮

寄付付き商品を選ぶ

売上金の一部が寄付につながる商品。



フェアトレード商品を選ぶ

発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に取引された商品を。



人
への配慮

障がいがある人の支援につながる商品を選ぶ

働きたい障がいがある人を支援している事業者の商品。

エシカル消費って
つまり
何を買うか考えるときの
ひとつの尺度です

世界の未来を変えるのは、あなたの日々の消費です。

※認証機関は他にも多数あり、これらはその一例です。

生物多様性民間参画ガイドライン 第2版(平成29年12月8日 環境省公表) http://www.env.go.jp/nature/biodic/gl_participation/download.html

世界を変えるための17の目標

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



12 つくる責任
つかう責任



持続可能な開発目標(SDGs)の
12番目は「つくる責任 つかう責任」

2015年9月の国連総会で決められた国際的な17の目標のなかにも、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会などと併せて、「持続可能な生産・消費形態の確保」が掲げられています。